

2017（平成29）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

昨年度からの継続した学びの一つとして、「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害者差別解消法の理解と支援方法を確認した。

平成29年2月より提供の開始された給食については、行事やセレクトメニュー等幅広い提案がなされ、食事を楽しむだけでなく活動の一環として企画に取り入れることができた。1年を経過し利用者・家族からも好評を得ている。

また、平成31年度からの指定3期目に備え、福祉サービス第三者評価を受審し、現状の課題に対する理解と改善につなげる取り組みを整理した。

自立訓練（機能訓練）事業においては、医療機関や介護保険、相談支援事業所との連携を強化し、利用者の地域生活支援を意識した。

生活介護事業においては、利用者特性に配慮しつつ、活動内容と支援

環境を見直し、限られた時間と場所で満足のいく活動が提供できるよう整備した。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

① 給食事業の安定

月に1回定例会議を開催し、利用者の様子や食形態について確認した。また利用者の実際の食事場面や保護者向けに試食会を年5回実施し、要望を取り入れることで日々の給食提供が安定した。

② 指定管理者更新の取り組み

福祉サービス第三者評価を受審し、平成31年度指定管理者更新に向けて、現状の課題に対する理解と改善につなげる取り組みを整理した。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

① 支援力向上に向けた取り組み

通常の研修参加に加え、事業内研修を年11回実施した。事業の特性理解を中心に、福祉施設全般に求められるテーマにも触れ、全体理解を深めた。

② ネットワーク体制の確立

利用開始時とサービス提供終了時に相談支援事業所をはじめ、サービス提供者を集めてのケース会議を会館主導で実施した。介護保険サービスを含め、包括的に利用者支援を行うための関係機関との連携方法と支援体制を確立させた。

③ 運動活動の充実

理学療法士とともに個別の運動プログラムを再構築した。運動能力の維持に加え、運動量の向上につながった。地域活動の外出は、年間を通して34回実施した。

(3) 生活介護事業

① 給食提供の工夫と活用

利用者の個々に合った食形態を提供するため、職員が永福学園の給食試食会に参加、歯科医師や歯科衛生士等と連携し嚥下機能や摂食指導を受け、食形態を見直した。毎月行っている実施の給食会議の際に、利用者の状況や体調を伝え、その時々に適した食形態を確認した。

また、セレクトメニューや行事食を企画し、自身で選ぶ喜びや目で見て楽しめる食事を提供した。

② 支援力の向上と見直し

職員それぞれが、個人研修計画に基づき、課題に向けた研修に参加した。研修での学びは、研修フィードバック（15分間研修）という形でその都度行い、情報の共有、皆で学ぶ環境を設定することで支援力の向上へと繋げた。

また、昨年度に続き現場職員間でのグループ交換研修を行い、どちらのグループでも柔軟に対応できる職員体制を確立させた。

③ 活動の工夫

3階活動室レイアウトの変更に伴い、クッキー作業は2階調理室で実施した。異なる環境で実施するにあたり、利用者の混乱を最小限にするために、①材料の搬入 ②仕込み ③焼きの3工程に細分化することで、今までと変わらぬ雰囲気で行えた。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画1件、更新15件、モニタリング15件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175

電子メール	na_shoukan@ikuseikai-kyo.or.jp
-------	--

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積		2,035.425 m ²
延床面積	障害者福祉会館	2,650.790 m ²
	沼袋区民活動センター	1,135.770 m ²
	防災備蓄倉庫	188.010 m ²
構造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 会館運営

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	事務（兼務）	1名
	事務主任（兼務）	1名		管理員	4名
	事務（兼務）	1名			
合計		3名	合計		5名
合計		8名			

イ. 自立訓練（機能訓練）・地域活動支援センター

※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	事務（兼務）	1名
	事務主任（兼務）	1名		支援員	2名
	事務（兼務）	1名		看護師	1名
	主任支援員	1名		理学療法士	1名
	支援員	4名		作業療法士	1名
	理学療法士	1名		言語聴覚士	1名
	作業療法士	1名		嘱託医（整形外科）	1名
	看護師	1名		嘱託医（内科）	1名
合計		11名	合計		9名

合 計	20 名
-----	------

ウ. 生活介護 ※管理者(施設長) サービス管理責任者(主任支援員)

常 勤	施設長(兼務)	1名	非 常 勤	事務(兼務)	1名
	事務主任(兼務)	1名		生活支援員	4名
	事務(兼務)	1名		看護師	1名
	主任支援員	1名		理学療法士	2名
	支援員	9名		作業療法士	1名
	看護師	2名		嘱託医(整形外科)	1名
				嘱託医(内科)	1名
				嘱託医(精神科)	1名
				嘱託医(歯科)	1名
合 計	15名	合 計	13名		
合 計	28名				

② 職員人事

(6) 利用者状況

① 自立訓練(機能訓練)事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。但し言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定 員	合 計
9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	10名	20名
1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0	10名	

ウ. 性別・年齢構成(平成29年度内)

	20歳 未満	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 65歳	65歳 以上	合計
男性	0名	0名	0名	7名	6名	5名	1名	19名
女性	0名	0名	1名	1名	2名	0名	0名	4名

合計	0名	0名	1名	8名	8名	5名	1名	23名
----	----	----	----	----	----	----	----	-----

エ. 障害程度（平成29年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	6名	5名	3名	0名	0名	0名	14名
2種	0名	4名	0名	0名	2名	3名	9名
合計	6名	9名	3名	0名	2名	3名	23名

オ. 利用者の利用前の状況（平成29年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	13名	3名	3名	2名	2名	23名

② 地域活動支援センター

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方であり、常時医学的な介護を必要とせず通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	6名	11名	3名	20名
女性	0名	0名	1名	2名	3名	1名	7名
合計	0名	0名	1名	8名	14名	4名	27名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	15名	5名	2名	0名	0名	0名	22名
2種	1名	1名	0名	2名	0名	1名	5名
合計	16名	6名	2名	2名	0名	1名	27名

③ 入浴事業

ア. 利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。年齢は満65歳

未満とする。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、家族、ボランティア等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成 (年間実績)

a. 機械入浴

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名

b. 介助入浴

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名
合計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名

エ. 障害程度

a. 機械入浴

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
2種	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

b. 介助入浴

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
2種	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

④ 講座・講習会

ア. 利用対象者

利用の対象は中野区内在住、在勤の方。

イ. 定員 (講座により変動あり)

⑤ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。
障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員29名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	2名	7名	2名	3名	3名	17名
女性	2名	4名	1名	5名	0名	12名
合計	4名	11名	3名	8名	3名	29名

*平均 男性 32.0歳 女性 30.9歳 全体 31.5歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	2名	1名	0名	0名	0名	0名	3名
2度	12名	2名	1名	0名	0名	0名	15名
無し	0名	11名	0名	0名	0名	0名	11名
合計	14名	14名	1名	0名	0名	0名	29名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	5名	7名	17名	29名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援卒業	区立卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	1名	25名	1名	2名	0名	29名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟姉妹	叔父叔母	従兄弟	後見人	その他	合計
男性	12名	0名	5名	0名	0名	0名	0名	1名	18名
女性	8名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	20名	0名	7名	0名	0名	0名	0名	2名	29名

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）4台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内8コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	548回	4,647名
紫バス	669回	5,683名
青バス	704回	6,862名
緑バス	702回	6,732名
れもんバス	567回	1,019名
りんごバス	679回	1,837名
いちごバス	495回	1,118名
すいかバス	695回	1,402名
合計	5,059回	29,300名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前9時から午後10時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	3名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00～12:00	2	13:00～17:00	3	18:00～22:00

b. 利用状況
障害者

施設	件数	人数
多目的室	45件	339名
調理室	75件	1,165名
音楽室	65件	922名
スポーツ訓練室	371件	4,414名
合計	556件	6,840名

一般

施設	件数	人数
調理室	81件	1,771名
音楽室	101件	1,470名
スポーツ訓練室	41件	527名
合計	223件	3,768名

③ タクシー券交付

福祉タクシー券	0件
---------	----

(2) 自立訓練事業（機能訓練）事業

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	14	14	14	15	14	13	12	13	13	14	14	14	164
新規	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	0	9
終了	1	0	1	1	2	2	0	1	0	1	0	0	9

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T：理学療法 O T：作業療法 S T：言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---

P T	113	113	140	103	82	75	68	77	91	78	80	100	1120
O T	95	100	108	98	86	86	81	91	100	87	68	84	1084
S T	39	40	42	38	39	32	40	42	35	32	36	45	460

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着 (午前の部) バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着 (午後の部) バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	24	25	24	25	25	26	28	26	27	27	27	27	311
新規	0	1	0	1	1	1	2	0	1	0	1	0	8
終了	0	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	5

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---

延数	115	118	129	126	128	157	145	135	140	127	116	164	1600
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	8名	調理、食の関心、陶芸、園芸、外出等
影絵工房	4名	影絵作成、外出、近隣保育園・生活介護利用者に向けた公演会
IT	2名	パソコンを使った創作活動
いきレク	5名	レクリエーション、調理、DVD鑑賞、外出
フィットネス	5名	DVD体操、個別体操、レクリエーション
おしゃべり工房	4名	絵画制作（障害者総合美術展に出展）等
ミュージック	6名	ピアノ、アコーディオン演奏に合わせた合唱 ミニコンサートの開催等
SHIP	4名	自立訓練終了後の高次脳機能障害者対象、創作活動、外出・イベント企画等
自主トレーニング	火3名 金7名	理学療法士と相談して立てたプログラムに沿った自主的な運動等

(4) その他

① 入浴事業

ア. 機械入浴（一人週1回まで）

利用状況（利用回数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	49

イ. 介助入浴（一人週2回まで）

利用状況（利用回数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	8	7	9	8	8	9	9	7	7	7	8	9	96

② 講座・講習

ア. 講習会

点字ボランティア育成の為、初級・中級講習（各10回）を開催。

点字講習	第1月曜	全20回	利用人数	130名
------	------	------	------	------

イ. 定期講座

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催。

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座 （視覚障害者対象）	第1火曜	全5回	59名
編み物講座	第1・3月曜	全11回	60名
合唱講座	第2火曜	全8回	64名
書道講座	第2・4水曜	全19回	140名
体操講座	第1金曜	全9回	36名
入門講座 （パン作り）	5月	全1回	9名
入門講座 （ヨガ）	2月	全2回	28名
入門講座 （スパイス）	2月	全1回	8名
入門講座 （エクササイズ）	2・3月	全2回	23名

(5) 生活介護事業

① 車椅子利用者 14名

② 入退所状況(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
入所	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 保護者状況(名)

状況	両親	父親	母親	兄弟姉妹	叔父叔母	従兄弟	後見人	その他	合計
男性	12名	0名	5名	1名	0名	0名	0名	1名	18名
女性	8名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	20名	0名	7名	1名	0名	0名	0名	2名	29名

④ 利用率(%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
78.7	80.5	82.5	71.8	68.8	71.2	69.6	76.0	77.4	71.1	69.6	71.7	74.0

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	テーマ別活動	テーマ別活動	テーマ別活動	目的別グループ活動	テーマ別活動
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	15名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等
ポレポレ	14名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入（ランチ）・こよみ作り等

⑦ テーマ別活動

	活動	内容
月	こよみ・音楽	こよみはステンシルや折り紙を折って、四季を表現したり、童話をモチーフに作成した。音楽は各グループや全体で行った。
火	室内活動等	各グループで足浴・手浴、DVD鑑賞、お菓子作り、お茶会等をして過ごした。
水	缶作業・ビーズ・レク・創作等	地域で回収した缶を洗う・並べる・仕分ける・潰す等の工程に分けて取り組んだ。ビーズはサンサングループの取り組みとして行った。レクでは主にポレポレグループが、ボーリング・野球ゲーム・オセロ・ジェンガ等をして楽しんだ。創作は季節感の感じる作品制作を行った。
木	クッキー（隔月）	レイアウトの変更に伴い、①材料の運び、②仕込み、③焼き、の3工程に分けて実施した。
金	缶作業・ビーズ・軽運動等	軽運動として、サンサングループでは回廊歩行や階段の上り下り、腹筋・背筋、マッサージを行い、ポレポレグループは個々に応じたストレッチ・トレーニングを行った。

⑧ その他の活動・サービス（全グループ共通）

ア．利用者の自治会活動（ひまわり会）

ひまわり会の話し合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。会費で行事の昼食やデザートを購入した。

行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ．調理実習

今年度は、各グループでの調理実習の他、男性陣、女性陣に分かれ調理実習を行った。ポレポレグループはパン粥とスイートポテト、サンサングループは具たくさん野菜スープを作った。

その他、2月は女性陣でバレンタインデー企画、3月は男性陣でホワイトデー企画のお菓子作りを実施した。仕上がったお菓子は華やかにラッピングしてそれぞれへのプレゼントとご家庭のお土産として持ち帰り企画を楽しんだ。

ウ．理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ．プール活動

年10回鷺宮体育館のプールを利用してプール活動を行った。欠席者が当日出た場合、他の希望者が参加できるよう工夫し、多くの方への機会をつくった。

オ．音楽活動

定期的に武蔵野音大の学生ボランティア・音楽療法講師・ライヤー演奏者を迎えて、全体で音楽活動を行った。ライヤー活動では演奏者からの要望もあり、全体と個別の時間を取り入れた。練馬区役所で行っているアトリウムコンサートへも散歩を兼ねて参加した。また、普段の活動においても、職員が内容を考えて音楽の時間を提供した。利用者の方々が好まれる曲を選曲し、職員がキーボードやギター等で伴奏を行った他、ボランティア活動をしているサクソ奏者の方を招き、演奏してもらった。

カ．パーソナル外出

利用者・家族にアンケートを取り、買い物・食事・長距離の散策・プール等、希望に沿った外出を小グループで行った。今後は実施時期にも配慮しながら設定する。

キ. クラブ活動

今年度のクラブ活動は、創作活動をメインに行った。活動時はグループに分かれ、その時々テーマに沿った作品を作った。8月のサマーパーティーでは、ひまわり会のシンボルでもある「ひまわり」の絵を皆で描き、10月はお祭りに向けて館内の装飾品作り、3月はアルモニー展示に向けて、皆で吊るし雛を作り、展示した。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6.2	大レクリエーション	鷺宮体育会	17名	6名
8.4	サマーパーティー	中野区障害者福祉会館	24名	0名
5.23～24	宿泊旅行	山梨(石和温泉・河口湖)	7名	1名
9.5～6	宿泊旅行	伊豆(伊豆長岡)	7名	0名
11.7～8	宿泊旅行	埼玉(飯能)	6名	1名
10.14	会館まつり	中野区障害者福祉会館	23名	61名
12.28	忘年会	中野区障害者福祉会館	22名	0名
3.23	納め会	中野区障害者福祉会館	22名	0名

⑩ 個別外出

実施日	実施場所	参加人数
9.22	国立西洋美術館	2名
10.22	池袋サンシャイン水族館	4名
11.17	としまえんフィッシングエリア	3名
11.22	所沢航空記念公園 所沢航空発祥記念会	4名
1.26	東京オペラシティー	2名
3.1	上野動物園	1名
3.7	東京タワー	2名
3.28	西武秩父	3名
3.29	田無リビン	1名

⑪ お楽しみデー

グループ	実施場所	回数
ポレポレ	かごの屋鷺ノ宮店、ホテルカデンツァ光が丘「白楽天」	2回
サンサン	ステーキガスト、ホテルカデンツァ「白楽天」	2回

⑫ 家族との連携

家族連絡会	12回	個別面談	46回
活動参観	1回	会館まつり	1回
大レクリエーション大会	1回	給食試食会	5回

⑬ タイムケア

17時まで (124回)	189回
18時まで (65回)	

(6) 特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15:30～17:00

③ 利用者数

ア. 平成29年度新規計画作成 1件

イ. 更新 15件

ウ. モニタリング 15件

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取組み、方針

会館運営、自立訓練事業、生活介護事業から担当職員を2名ずつ選出し、権利擁護について取り組んだ。今年度については、特に障害者虐待防止について議論を深めた。

また、ボランティアや実習生、近隣住民との交流を持ち、常に外部の目を入れることで、職員の意識改革を図った。

(2) 虐待防止委員会

① 委員会・会議等

虐待防止委員会	1回
---------	----

② 研修等

施設内研修 (事業別4回)	4回
---------------	----

(3) 苦情解決第三者委員

契約時における苦情解決担当者、苦情解決責任者の説明に加え、法人窓口、区担当・オンブズマン、第三者委員等を紹介し、事業の適正化や信頼性の確保を図る取り組みを行った。第三者委員との連携を強化し、運営協議会への参加及び活動を見学する機会をつくった。

また、利用者の意見が施設の運営に反映され、より良い事業運営に繋がるよう関係団体・家族会役員等に委員を委託し運営協議会を開催した。

運営協議会	1回
-------	----

(4) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア. 施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ. 個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ. システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して、全職員に説明し管理を徹底した。

(5) 障害者差別解消法

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

また、合理的配慮については外出訓練の振り返り時に、外出先での社会の障壁について、利用者と話し合った。

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年24回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援した。

ア. 利用者が安全に通所できるように、施設内の衛生管理、環境整備を行い、感染症を予防した。

イ. 利用者が日常において健康で安全な生活が送れるように、毎日の健康チェックを実施し体調を把握した。

また、利用者が自らの健康状態に関心を持ち、管理ができるように支援、助言した。

ウ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

エ. 定期健診を実施していない利用者に対して、区健康診断の受診を勧めた。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。

ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。

イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックをすることで、疾病等の早期発見に努めた。

ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。

エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。

オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。

カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

(2) 実施体制

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・リハビリ科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科

(3) 嘱託医健診等

① 自立訓練（機能訓練）事業

内科健診	24回	体重測定	毎月
整形外科健診	24回	健康チェック	毎日
精神科相談	適宜		

② 生活介護事業

内科健診	2回	体重測定	12回
整形外科健診	2回	健康チェック	毎日
精神科健診	10回	定期健康診断	1回
歯科検診	2回		

(4) 感染症予防・対応

- ① 新任職員入職時や感染症流行前に医務が中心となって、感染予防・対応（吐物処理等）の施設内研修を行い、職員の意識を高めた。
- ② 感染症マニュアルを基に、予防・対応に取り組んだ。
- ③ 週1回、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。
また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。
インフルエンザ流行時には、特に環境面に配慮し、また利用者家族に注意・喚起を行い、感染を最小限に防いだ。

(5) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

平成29年2月1日より給食提供を開始した。利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。

また、食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(1) 給食会議

毎月、第2火曜日に定例会議を開催し、検食簿を基にメニューの振り返りと確認、翌月の予定調整やイベント食、セレクトメニューの提案や企画をした。また、利用者個々の体調や適した食形態を確認し、その方に合わせて変更した。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

(3) 委託業者

平成29年2月1日より給食提供を開始した。

委託業者については、応募のあった業者の中から、利用者の状況に合わせた食事を提供できる業者を、企画の提出・ヒアリング・試食会を行い選定した。

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都新宿区三栄町25番地 堀木ビル2階

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理体制

(1) 事故防止・報告・改善と感染症の予防対策

職員会議・ミーティングで定期的に「ヒヤリハット・インシデント」報告を行い、職員間で危機管理意識を持った。感染症に対しては、流行前に施設内研修にて知識を身に付け、また家族連絡会において、区内状況を報告する等、発生を最小限に留めるようにした。

(2) 緊急連絡網の整備

施設や家族と様々な状況を想定した緊急連絡網を整備し、緊急時に備えた。

また、中野区障害者福祉会館を災害時の二次避難場所であることを利用者・家族へ周知した。

(3) 保険の加入

施設として施設賠償保険に加入するとともに、行事保険やボランティア保険にも加入した。

(4) 特定個人情報管理（マイナンバー関連書類・データ等）

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」に則り、管理区域、取扱区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの番号収集は、規程に則り、適切な方法で行った。

職名	氏名
管理責任者(法人)	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務主任

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

障害者福祉会館館長を隊長として、館内にある区民活動センターと協同で自衛消防組織を編成し、訓練を実施しながら有事に備えた。

(2) 防災訓練

消防署の立会いのもと6月、1月に火災を想定して、全館（1階区民活動センター含む）にて総合避難訓練を実施した。

① 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

② 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練（合同）	2回	避難訓練	3回
消火器設置場所確認・ 訓練机上訓練	1回		

(3) 大規模地震・災害対応

年2回、消防署と打合せを行い、地区区民活動センターと合同による大規模災害に備えての総合避難訓練を実施し、連携を強化した。

また、中野区と協力体制を整えながら、備蓄倉庫及び指定された二次避難所の役割について確認した。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えた。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 年12回、毎月第3金曜日は家族連絡会を開催し、施設からの連絡・行事や活動報告、家族との意見交換の場とした。
- ④ 中間時は個別支援計画書の作成・見直し・報告の面談を行い、利用者・家族の意向を踏まえた計画書を作成した。
- ⑤ 今年度は、9月に活動参観日を設け、日常の活動の様子を保護者が見学する機会を設けると同時に、交流を持てる場を企画した。
- ⑥ 年1回、家族参加行事「大レクリエーション大会」を開催し、交流を図った。

11. 地域との連携

(1) 地域交流

年1回、地域まっりのひとつとして会館まつりを開催し、地域と連携し、事業を理解して頂くための機会とした。

- ① 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。
- ② 実習生や行事・日中活動時のボランティア受け入れを行った。
- ③ アルモニーを有効活用して、様々な方との交流の場とした。
- ④ 施設広報誌を年3回発行し、地域との交流を図った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

- ① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。
- ② 自立支援協議会の各部会へ参加した。

- ア. 施設系事業者連絡会
- イ. 相談支援部会
- ③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① 自立訓練

ア. 実習・体験・見学等

短大生インターンシップ	2名
-------------	----

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	159名
---------------	------

② 生活介護

ア. 実習

特別支援学校	3回
--------	----

イ. 体験・研修

大学生体験	2名	中学生体験	2名
専門学校実習	3名	法務省研修	6名

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	74名
------------------------	-----

12. 会議・委員会

(1) 法人関係

施設長会議	9回	主任係長会	10回
事務連絡会	2回	看護師会	4回
どりーむ通信	10回		

(2) 施設関係

運営会議	9回	医務会議	12回
運営協議会	1回	会館まつり全体会議	2回
虐待防止委員会	1回	会館まつり担当者会議	6回
人事考課調整会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議	12回	全体職員会議	6回

(3) 区関係

自立支援協議会（施設系）	4回	入所情報連絡会	2回
自立支援協議会（相談支援）	4回		

(4) サービス事業別会議

① 自立訓練（機能訓練）

職員会議	16回	個別支援計画会議	12回
支援員会議	11回		

② 生活介護

職員会議	12回	個別支援計画全体会議	15回
目的別会議	24回	家族連絡会（生活介護）	12回
リーダー会議	12回	給食会議	12回

13. 研修計画・大会参加

(1) 会館運営（研修等実施・参加状況）

① 法人関係（施設内含）

東京都大会	2名	Bブロック研修全体会	1名
全国大会	2名	インクルージョンカップ	3名
障害者スポーツ大会	1名	人事考課フォローアップ研修	1名

② その他

労務管理研修	2名	社会保障	2名
労働セミナー	2名	給与ソフト説明会	2名
ハラスメントセミナー	2名	食品衛生責任者研修	1名

(2) 自立訓練（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

大研修会	1名	新任集中研修（全5回）	1名
事業所協議会全国研修大会	1名	Bブロック研修全体研修会	4名
看護師連絡会主催研修	1名		

② その他

障害者差別解消推進講演会	2名	高次脳機能障害者相談支援	2名
認知行動療法	1名	中野区高次脳機能障害連絡会	2名
社会的行動障害	1名	障害者スポーツ指導員養成	1名
当事者支援者の関係性の再考	1名	視覚障害者就労支援者講習	1名

③ 施設内研修・学習会

移動・移乗・歩行介助技術	8名	病気のこと（脳出血他）	8名
緊急時対応（窒息・痙攣他）	8名	補装具・自助具	8名
失語症	8名	自立訓練全般	7名
O T 訓練について	10名	H I V について	8名
感染症（施設全体研修）	27名	体操について	10名
感染症（インフルエンザ他）	6名		

④ 見学

介護保険他		就労他	
くまくぼ整形デイケア	2名	ヒトワソーシャルワークス	1名
江古田の森デイケア	1名	国際展示機器展	2名

（3）生活介護（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

Bブロック研修 「事業所の強みと課題について考える」	6名	新任支援員等研修 フォローアップ研修	2名
育成会全国大会（北海道）	1名	新任研修施設見学会Ⅱ	2名
初級中堅職員研修	1名	人事考課フォローアップ研修	1名
中級中堅職員研修	1名	手をつなぐ育成会 千葉大会	1名
新任職員研修	2名		

② その他

相談支援専門員研修	1名	てんかん基礎研修	1名
摂食・嚥下指導（基礎、実習）	1名	平成29年度学校給食試食会（永福学園）	1名
重症児（者）肢体不自由児等に関わる看護師・講習会	2名	医療的ケアの必要な重症心身障害者の地域生活を支える	1名
強度行動障害 医療研修	2名	「個別支援計画」作りを再考する	1名
支援力を高める・当事者と支援者の関係性を再考する	1名	支援者のメンタルヘルスを考える	1名

③ 施設内研修・学習会

研修報告会 「高齢化」知的障害者と認知症	14名	研修報告 「支援力を高める」	16名
研修報告 グループワーク「自己決定とわがまま」	16名	研修報告 「摂食・嚥下」	13名
研修報告「てんかん基礎講座」	17名	研修報告 「メンタルヘルス」	16名
研修報告 「医療的ケアの必要な重症心身障害者の地域生活を支える」	16名	研修報告 「強度行動障害」	16名
医療的ケア研修	8名	施設内交流研修	14名

1.4. 労務管理

(1) 職員健康管理

職員は年1回、健康診断を実施した。健康診断の結果は看護師が集約し、施設長が把握したうえで、医師からの所見のあった職員については、施設長が対象職員と確認を行った。

(2) 衛生推進体制

所属	安全衛生推進者
会館運営	会館運営主任

(3) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止

相談窓口の設置

所属	相談窓口
会館運営	会館運営主任 他1名
自立訓練（機能訓練）	自立訓練（機能訓練）事業主任 他1名
生活介護	生活介護事業主任 他1名

(4) メンタルヘルス

法人事務局相談室に設置されている「職員悩み事相談室」と「無料相談窓口メンタルサポートネット」を紹介した。

また、研修に参加しやすい環境整備、研修啓発を行った。

法人のストレスチェック制度実施規定に基づき、ストレスチェックを11月に実施した。

(5) 次世代育成

職員が仕事と子育てを両立させることができる環境を作るために年次有給休暇取得状況の把握と業務の見直しを行った。

また、近隣小学校の課外授業において、4年生3学級を対象に全3日間、施設紹介と活動体験を行った。初めての試みとなったが、次年度も引き続きの実施が決定した。

子ども参観日の実績なし。

15. 指導・監査・調査等

(1) 福祉サービス第三者評価

今年度実施し、平成31年度指定管理者更新に向けて課題を整理した。

(2) 事業別満足度調査の実施

福祉サービス第三者評価受審年度の為、満足度調査は実施せず。評価の結果については家族会等で公表した。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）